

女性を対象としたアンケート調査

調査目的

困難な問題を抱える女性の支援に関する法律に基づく県基本計画の策定及び今後の施策の参考とする。

調査概要

- | | |
|---------|--|
| (1) 対象 | 県内にお住まいの女性 |
| (2) 期間 | 令和5年7月1日（土）～8月20日（日） |
| (3) 項目 | 生活状況、現在不安に思うこと、行政や相談等支援機関へ望む支援など18項目 |
| (4) 方法 | 行政機関、スーパーでのチラシ配架、県ホームページ等で周知・募集、アンケートフォーム（電子申請システム）で回答受付 |
| (5) 回答数 | 797名 |

(6) 回答者の属性

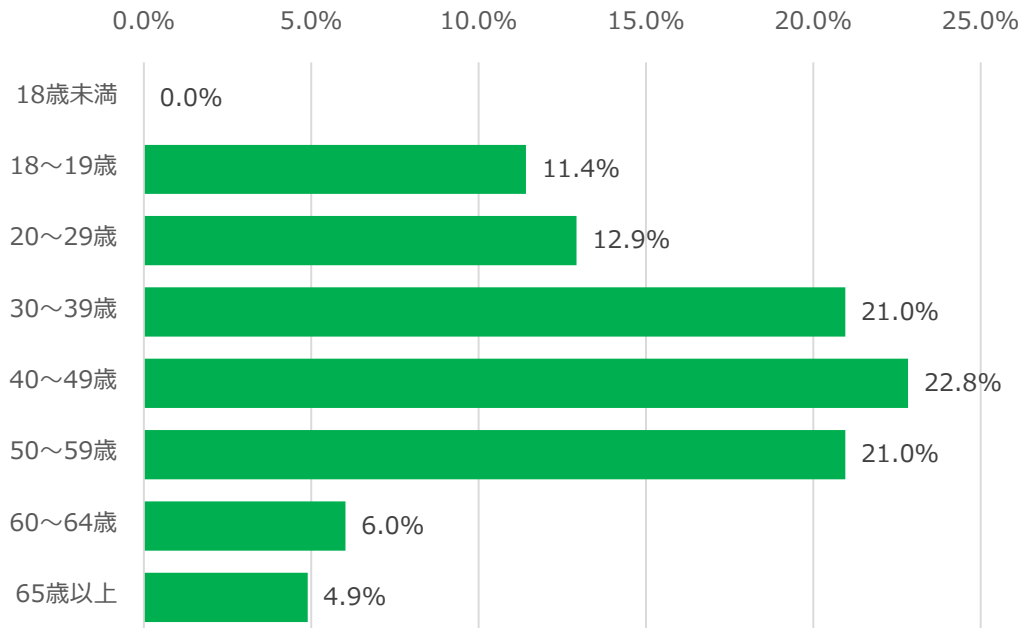
● 住まい

単位：人

富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市
409	94	24	14	24	32	28	14
南砺市	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町	合計
44	71	3	12	15	8	5	797

● 年齢

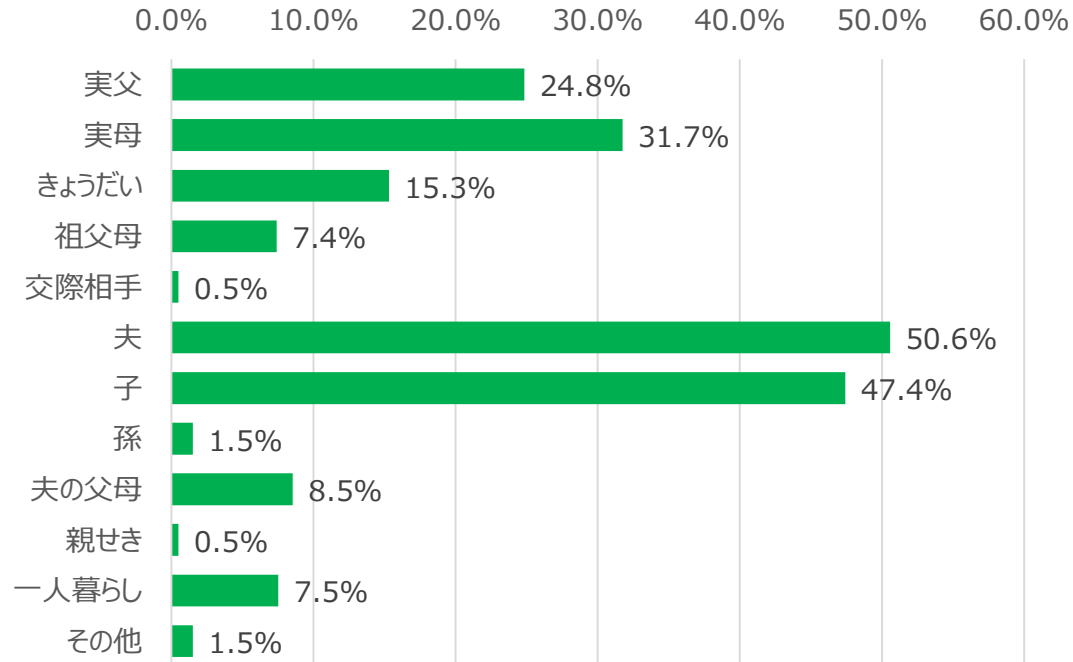
年齢区分	人数
18歳未満	0
18～19歳	91
20～29歳	103
30～39歳	167
40～49歳	182
50～59歳	167
60～64歳	48
65歳以上	39
合計	797



同居者（複数回答）

回答者797人

区分	人数
実父	198
実母	253
きょうだい	122
祖父母	59
交際相手	4
夫	403
子	378
孫	12
夫の父母	68
親せき	4
一人暮らし	60
その他	12



最終学歴

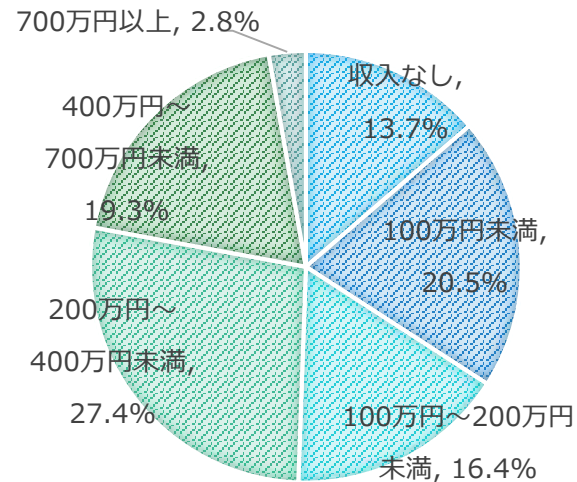
区分	中学校				高等学校			専門（各種）学校			高等専門学校			短期大学			大学			大学院			合計
	卒業	卒業	中退	在学中	卒業	中退	在学中	卒業	中退	在学中	卒業	中退	在学中	卒業	中退	在学中	修了	中退	在学中				
人数	1	144	7	0	76	8	5	11	0	0	105	1	108	285	7	9	27	2	1	797			

● 就労状況

区分	学生	パート・アルバイト	契約社員 嘱託職員 派遣社員	正社員	自営業 家族従事者	専業主婦	求職中	就労していない	合計
人数	115	152	60	359	24	58	8	21	797
割合	14.4%	19.1%	7.5%	45.0%	3.0%	7.3%	1.0%	2.6%	100%

● 収入

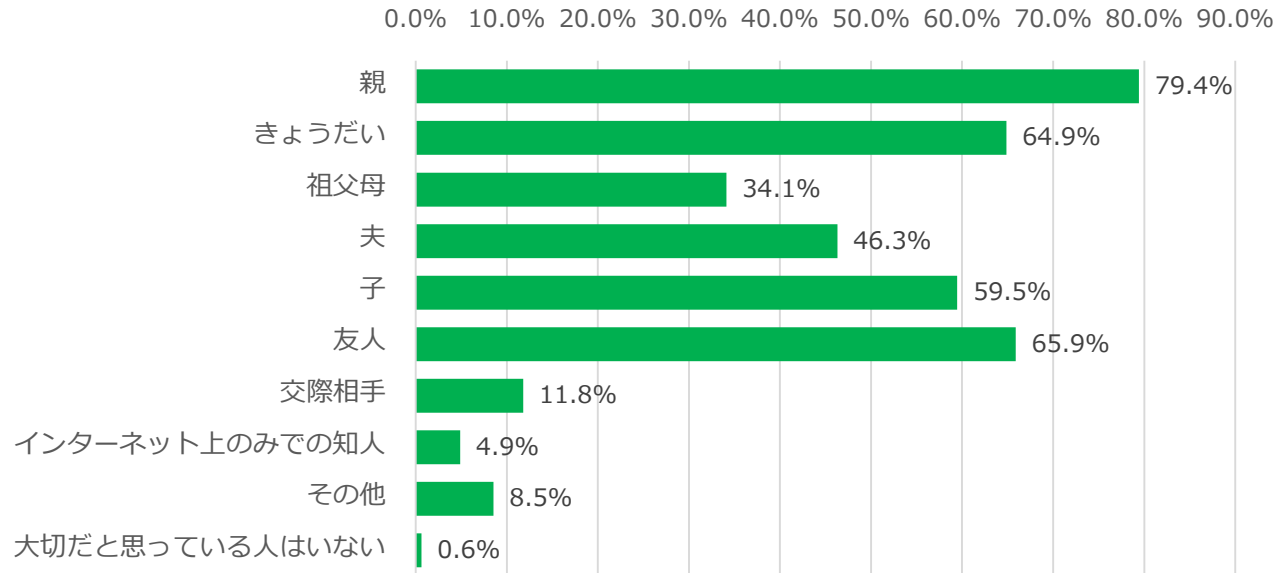
年収	人数
収入なし	109
100万円未満	163
100万円～200万円未満	131
200万円～400万円未満	218
400万円～700万円未満	154
700万円以上	22
合計	797



結果概要

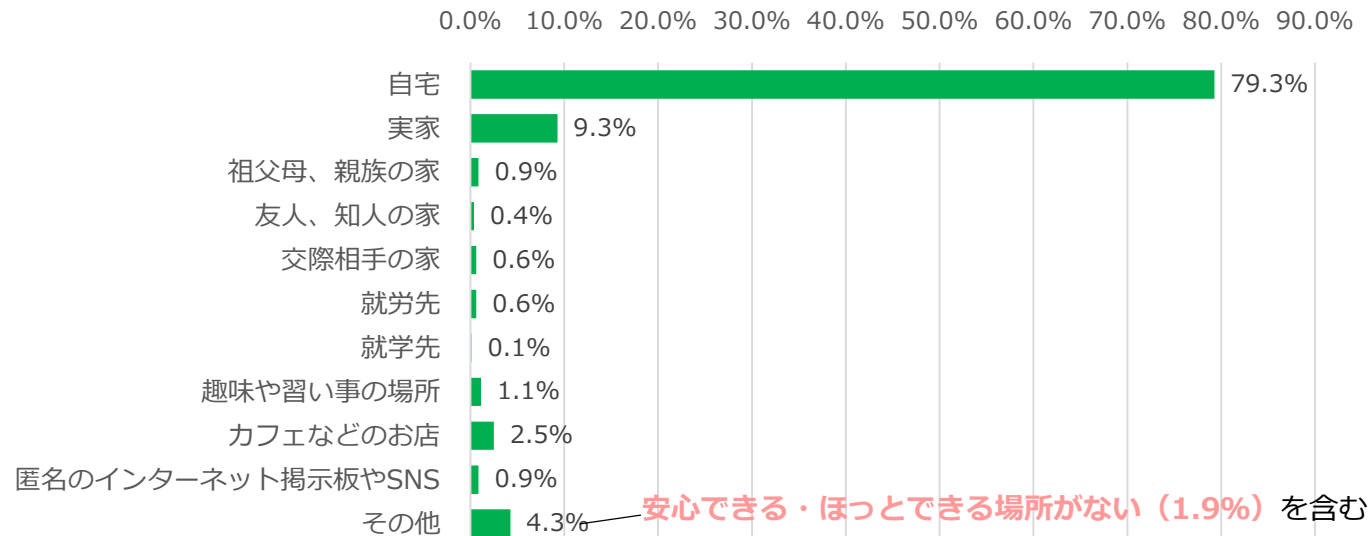
● 大切だと思っている人（複数回答）【問7 関係】

回答者797人



● 安心できる・ほっとできる場所（単一回答）【問8 関係】

回答者797人



● 不安に感じていること（各項目1つ回答）【問9関係】

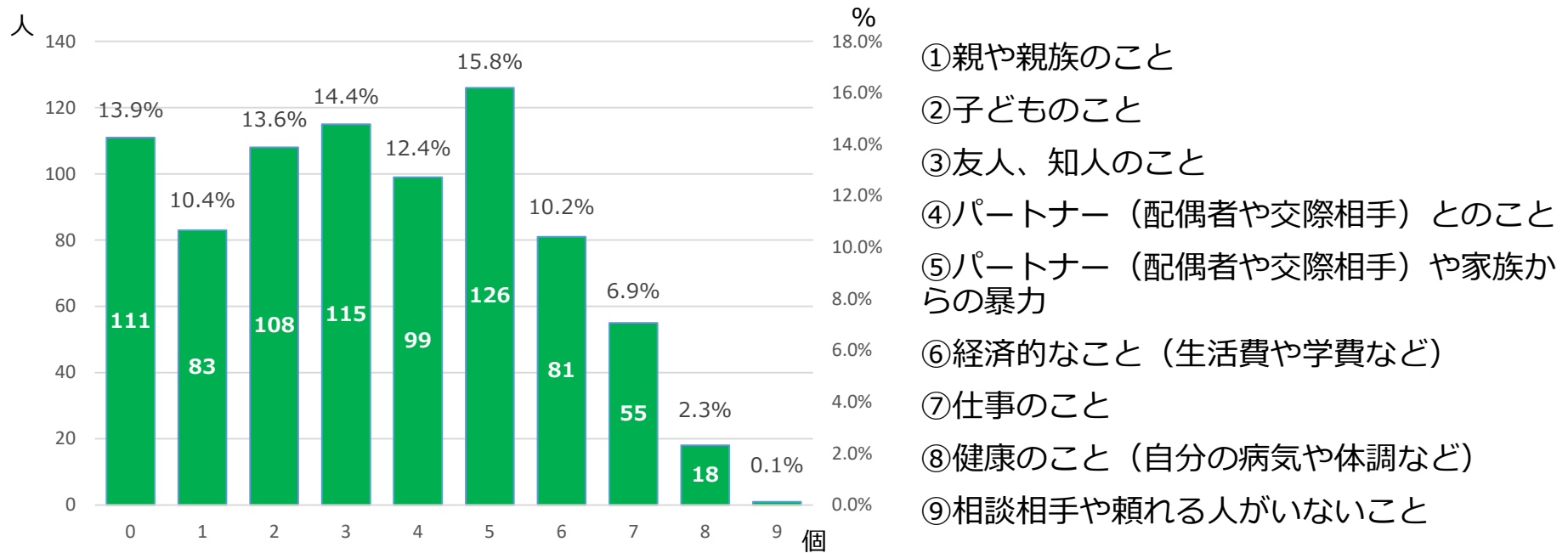
回答者797人

項目		まったく不安ではない	どちらかという不安ではない	どちらともいえない	どちらかという不安だ	とても不安だ	自分にはあてはまらない
①親や親族のこと	人数	94	145	120	254	172	12
	割合	11.8%	18.2%	15.1%	31.9%	21.6%	1.5%
②子どものこと	人数	53	118	102	187	123	214
	割合	6.6%	14.8%	12.8%	23.5%	15.4%	26.9%
③友人、知人のこと	人数	231	246	178	85	16	41
	割合	29.0%	30.9%	22.3%	10.7%	2.0%	5.1%
④パートナー（配偶者や交際相手）とのこと	人数	131	163	109	122	61	211
	割合	16.4%	20.5%	13.7%	15.3%	7.7%	26.5%
⑤パートナー（配偶者や交際相手）や家族からの暴力	人数	374	58	48	29	27	261
	割合	46.9%	7.3%	6.0%	3.6%	3.4%	32.7%
⑥経済的なこと（生活費や学費など）	人数	67	154	94	219	247	16
	割合	8.4%	19.3%	11.8%	27.5%	31.0%	2.0%
⑦仕事のこと	人数	46	127	116	269	180	59
	割合	5.8%	15.9%	14.6%	33.8%	22.6%	7.4%
⑧健康の不安のこと（自分の病気や体調など）	人数	58	171	139	289	137	3
	割合	7.3%	21.5%	17.4%	36.3%	17.2%	0.4%
⑨相談相手や頼れる人がいないこと	人数	118	170	137	170	107	95
	割合	14.8%	21.3%	17.2%	21.3%	13.4%	11.9%

● 不安に感じていること（各項目1つ選択回答）【問9関係】

回答者797人

9項目のうち「どちらかという不安だ」または「とても不安だ」と回答した「項目」の数



・ 9項目のうち、いずれかの項目について

「**どちらかという不安**」または「**とても不安だ**」（以下、「**不安である**」という。）

と回答した方は、**約86%**であった。

・ 5項目について「不安である」と回答した方が最も多く15.8%となっており、**平均で3.8項目**について「不安である」と回答している。

● その他不安に感じていること（自由記載）【問9 関係（抜粋）】

【将来への不安】

- ・ 漠然とした不安
- ・ こどもができるか
- ・ 親の老後（介護費用、時間、認知症）
- ・ 老後に公的支援が受けられるか、家じまいについて
- ・ 子の自立や夫の死亡でひとりになったとき
- ・ 県外出身で子どもなし。将来富山でひとりになった時がどうなるか。
- ・ 障害のある子の「就職」、「親である自分が亡くなった後のこどもの生活」
- ・ 子がないため、病院の検査などのための連帯保証人となってくれる人が少ない。将来入院もできないのではないか。
- ・ 独身者は税金・社会保険料等扶養内で働いている人より払っているのに、支援がない。将来が不安

【対人関係のこと】

- ・ 移住して4年になるが職場以外で友人がいない。
- ・ 他県から嫁いできたが友人がいない。
- ・ 県外から転勤してきたが、住みづらい、人の温かさが無い。
- ・ 家族のことを他人に相談できない。

● その他不安に感じていること（自由記載）【問9 関係（抜粋）】

【両親が遠方のため子育てを手伝ってもらえないこと】

- ・ 夫婦とも県外出身のため子育てをサポートしてくれる人がおらず、復職できない
- ・ 県外出身、両親に子育てを手伝ってもらえないが、富山では家族内の支援が普通。ファミリーサポートセンターもサポーターが少なく利用に困る。ひとり親だけでなく子育て世代を対象としたサービスを増やして欲しい

【支援制度が受けられないこと】

- ・ 離婚調停が長引いている。実質ひとり親なのにひとり親支援が受けられない
- ・ 離婚したいが経済的に自立が難しい。夫と別居でも市営住宅に応募できるようにしてほしい

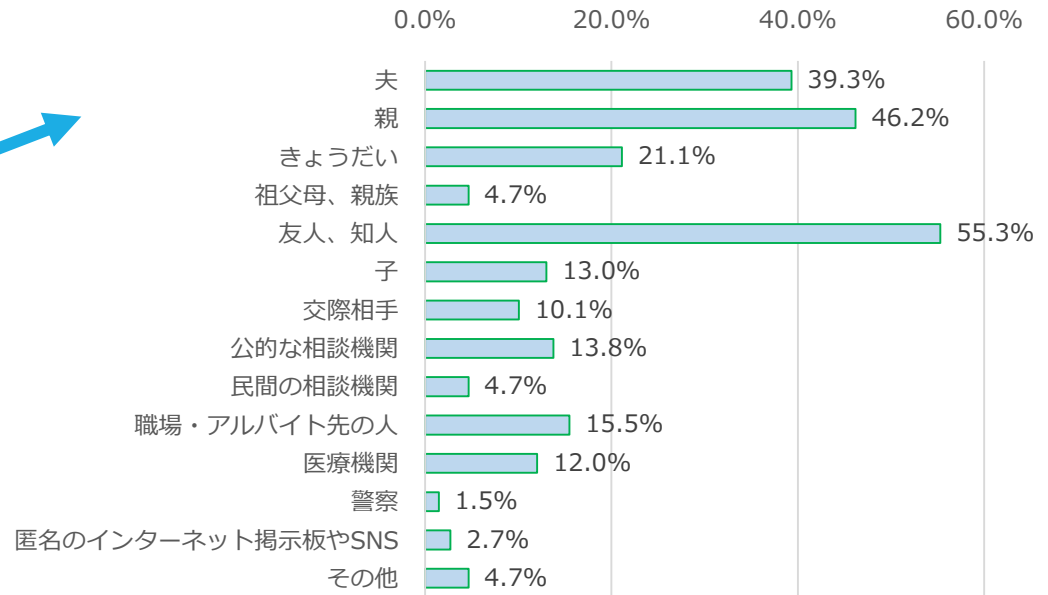
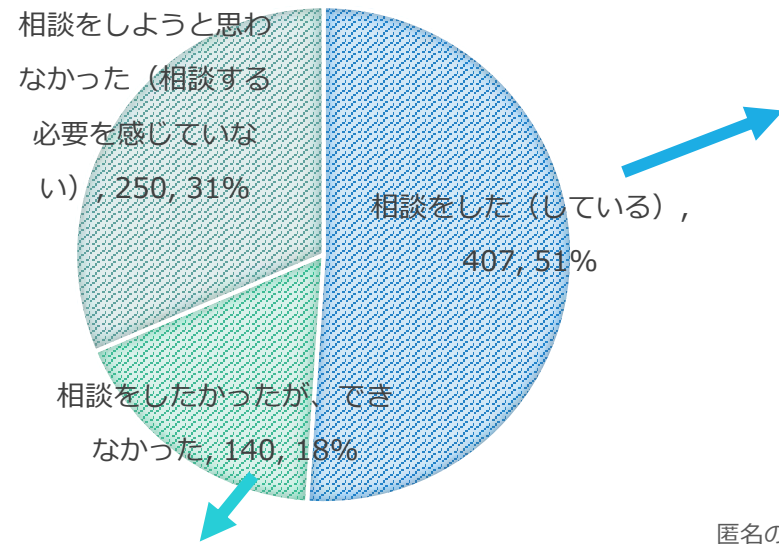
【その他】

- ・ ひとり暮らしでの体調の急変
- ・ 奨学金が返済できるか
- ・ 短期バイトもなく、就職できるか

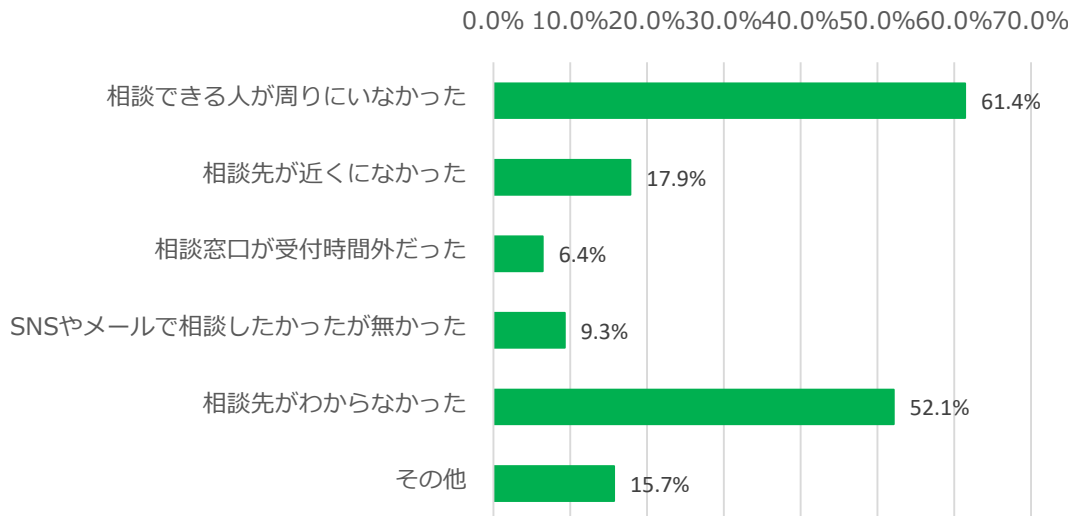
女性を対象としたアンケート調査

● 不安だと感じていることについて、相談をしていますか（単一回答）【問11関係】 回答者797人

■ 相談した（している）相手（複数回答） 回答者407人

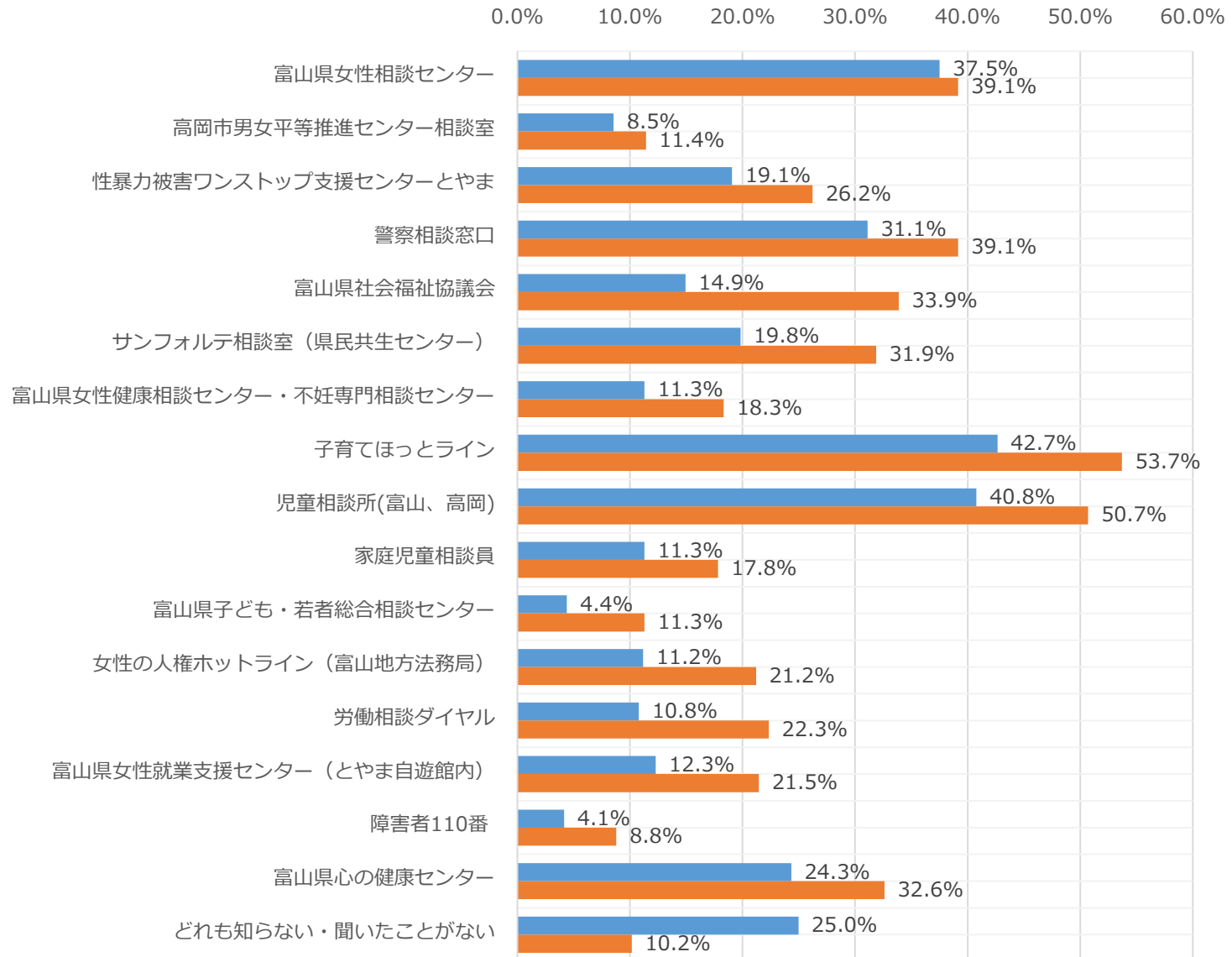


■ 相談できなかった理由（複数回答） 回答者140人



● 相談窓口の認知度【問14, 15関係】

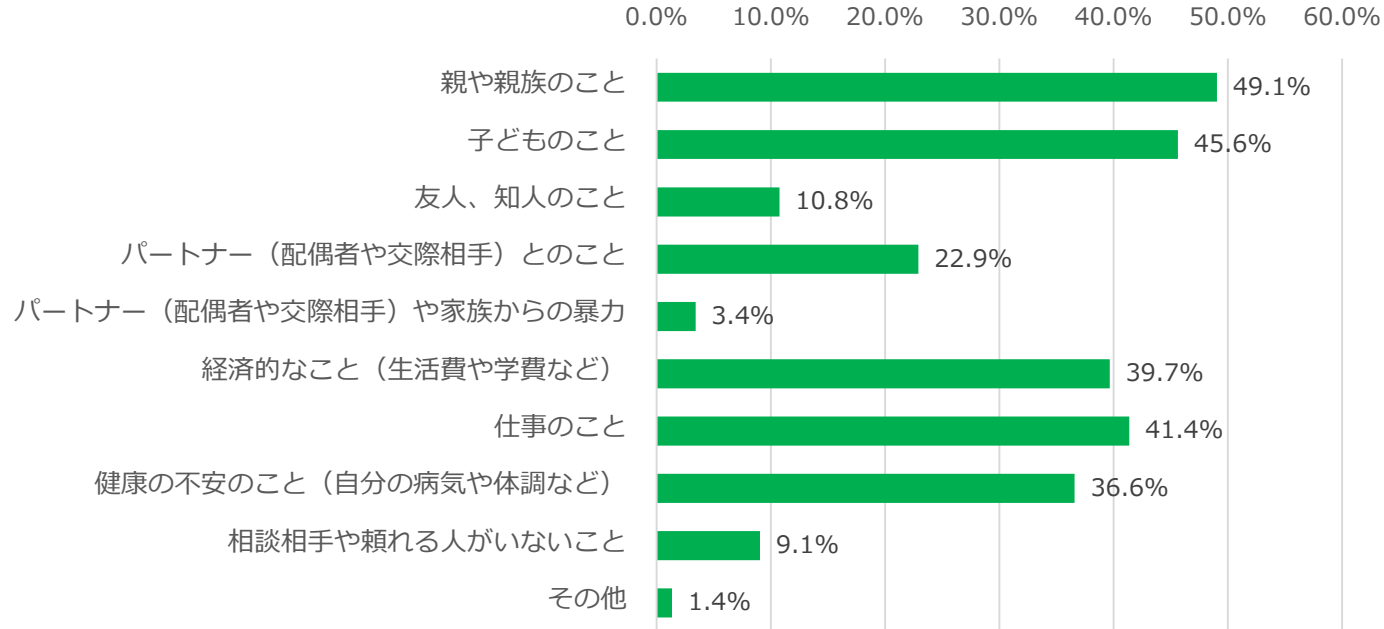
回答者797人



■ 相談受付内容を知っている

■ 相談受付内容は知らないが聞いたことはある。

● 周囲の女性の悩みごと（複数回答） 【問16関係】 回答者585人



- 現在不安に思っていることや困っていることに対し、望む支援（自由記載）【問17関係】
■ **相談体制の充実、強化（63名）** 記入者：284名

- ・ LINEやメールなどで相談をしたい。（気軽に相談、匿名で相談）（47名）
- ・ 夜間・休日にも相談したい。土日に就業相談したい。
- ・ 相談時間できる時間をもっと長くしてほしい。
- ・ 総合相談窓口の設置
- ・ 解決まで寄り添って支援をしてほしい。
- ・ 行政職員の相談対応・支援のスキルアップ（不慣れ、回答が曖昧、態度が冷たいなど）

■ **居場所や交流の場の提供（26名）**

- ・ 相談だけではなく、なんとなく行きたくなるようなカフェのような居場所
- ・ 同じ境遇の方や同じ悩みを持つ方と交流したい。
- ・ 相談を待つより、ショッピングモールなどに「気軽に立ち寄られる場所」を設置している
いような相談を受け付けた方が相談窓口につながりづらい方には良いのではないかと。

■ **相談窓口と相談受付内容の周知（12名）**

- ・ 相談窓口と相談できる内容を具体的に知りたい。
- ・ 今は困っていないが、今後のために相談窓口を知りたい。
- ・ 困りごとに応じてどういう支援が受けられるのかを広く周知することで、具体的な困りごとが起こっても、こういう支援ある、と思えることは安心につながる。
- ・ 何をやっているかわからない窓口が多すぎる。

- 現在不安に思っていることや困っていることに対し、望む支援（自由記載）【問17関係】
記入者：284名

■ その他

- ・ 短期間住める場所（日常的な暴力やストーカーから避難する場所、離婚前後の居場所等）
- ・ 行政がひとり親のアパート契約を後押しするような制度が欲しい。（ひとり親というだけで断られる）。
- ・ 子育ては女性への負担が大きいのが現状であり、就学前後の子育て中の働く女性への支援がもっと充実すればいい。
- ・ 離婚前別居では、どこからの支援も無く、子育てする中で働く自分の少ない収入で生活するしかなく、結局は経済的、精神的DVからは簡単に逃げられない。
- ・ 老後に車を手放した後が不安。買い物や医療へのアクセスの交通網が発達して欲しい。
- ・ 臨床心理士や公認心理師によるカウンセリングを公的機関で適正価格で受けたい。
- ・ 身寄りがない場合、自分が死んだあとの手続きを先に登録しておける制度。
- ・ 富山県はまだまだ男尊女卑が根強く残っている。なんらかの対策をとるべきだ。
- ・ 支援というよりは、困ったときは頼っていい、自分だけの責任ではないよ、ということをもみな共通認識としてもつ
- ・ 住まい空き家活用の利用状況を気軽に相談できる場所
- ・ 障害児支援の充実、精神障害者である子についての支援
- ・ 制度を調べたいが、名前を知らない制度をどうやって調べたらよいかわからない。
- ・ 少子化ばかりでなく、もっと寛容にひとりひとりが認められる社会になってほしい

● これまでに、公的、民間を問わず受けてよかった支援サービス（自由記載）【問18関係】

・ハローワーク、マザーズハローワーク、ハローワークの母子家庭の窓口、母子家庭等就業自立支援センター、女性就業支援センター、公的就労支援窓口など就労支援機関（10）

・産後ヘルパー、産後ケアセンター、保健師の同行支援（産後うつ）助産師の家庭訪問など産後支援（8）

・ひとり親家庭支援（公・民）（8）

・子育て支援センター（6）

・弁護士無料相談（6）

・消費生活センター（5）

・こども食堂

・子育てほっとライン

・小児救急電話相談、小児科・産婦人科オンライン相談

・よりそいホットライン

・女性相談センター

・県教育相談センターでの個人面接、子の学校でのカウンセリング、教育相談

・介護サービス

・警察、警察のヤングテレフォン相談

・各種手当・医療費助成制度

（ ）は、人数（5名以上の場合に記載）

など